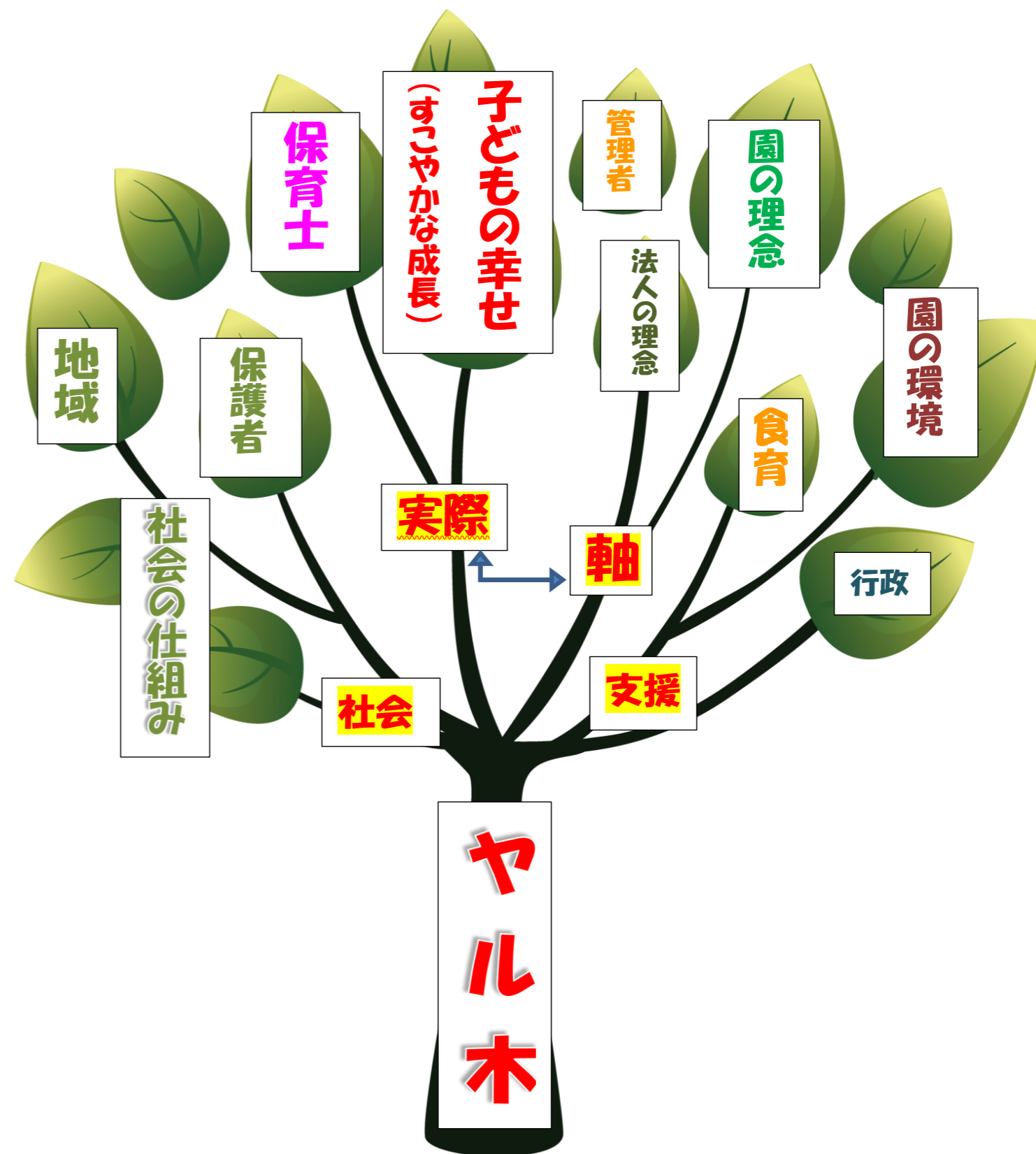


評価のしくみ (絵図)

第三者評価は面倒なようですが、
楽しく準備することもできます。

健康診断と考え、現状把握の観点で
受審なさを、お勧めします。



健診的評価

(建前と実際に齟齬はないか)
(サービス=安全/保護+支援)
(改善を阻むもの 課題)
(結果⇒予想通りにはなりにくい)

何を見るか

現況はどうか

理念（力の結集）

○わかり易さ

○具体性

（実現可能・計測可能・経費予測）

推進組織

管理者・職員・保護者

・地域・社会との連携

実際の保育

○ 子どもの状況

○ 安全対策

○ 保護者支援

何で計測？

評価基準

72項目

404チェック

（絶対評価）

+

コメント

○ 優れた点・改善すべき点

○ 質への言及

文書化/記録度合い

標準化 //

運用（PDCA） //

公開 //

目的は？

改善してゆく仕組みづくり

ところが偽装で・・・日本品質に陰り

○全員参加

同じ方向を向いているか

○軸の確立と循環

意思疎通の改善策

人と人は言葉で繋がる

○情報公開

地域・社会の協力を得る

公金投入施設の説明責任

評価原則（着眼点の視点=クリアしているかどうか）

- | | | |
|---|---------------|---------------------------|
| 1 | 書面化状況（記録） | 話し合い 現状把握 対策 仕組み 実施 結果 |
| 2 | 明確な基準（マニュアル化） | 対応手順 対処方法 |
| 3 | 継続状況・その通り実施か | 書面通り実施か 全員で PDCA が回されているか |

